

# 雲南の映像事情

いとう さとる

総合研究大学院大学博士課程、  
日本学術振興会特別研究員

専門は民族音楽学と文化人類学。主に中国雲南省と隣接地域ミャンマー（ビルマ）、タイ北部に住むタイ族の音文化、その変容を研究している。

来日した三名のタイ族民間芸能者と筆者（左）



民博で開催された特別展「深奥的中国」の関連イベントのひとつとして、二〇〇八年五月、中国雲南省の少数民族の歌と踊りを紹介する研究公演「タイ族のこころの調べ」がおこなわれた。徳宏タイ族ジンポー族自治州（徳宏州）のタイ族の民間芸

能者三名が現地から飛行機を乗り継いで来日し、大阪や京都でも公演をおこなった。

わたしは現地からずっと三人の民間芸能者同行し、彼らが日本の社会と文化に一喜一憂する姿を見た。歌の名手のタイ族のおかさんとお

じさんは、行く先々で感想を即興歌に表現して歌い、わたしはその姿をビデオに収めた。

その後、徳宏州に帰り、住み込み調査を再開したわたしは、空いた時間を利用して撮影した映像記録をDVDとVCDメディアに編集し、三人の親戚や友人に日本渡航記念としてプレゼントしたのだ。

中国は、いま急速な経済成長を遂げ、社会や文化も急激な変化のなかにある。一方で、CDやDVDの不正コピーなどの著作権侵害は、海外企業に甚大な損害を与えている。現在も一向に不正はなくなりませんが、村や街の人びとは、その「恩恵」を受けた生活を送っている。

## 「無名の英雄」

わたしが初めて雲南省昆明市に留学した一九九八年二月ころ、すでにテレビ取材班や研究者から記録される側になっていた。しかし近年では、自分たちの手で自文化を表象するようになってきた。

民族によっては、中年の男女ならば即興で歌を掛け合う文化をいまでも保持している。残念ながら若者たちにはその技術は伝承されていないようだが、消えかかっていた即興歌の文化は、ビデオカメラの登場によって新しい娯楽として生まれ変わりつつある。

たとえば、農村では大金をつぎ込んで開催される結婚式や伝統的祝祭などに、名の知れた歌手たちを招いて一席歌ってもらう。場合によっては村人たちが参加した掛け歌大会に早変わりする。主催者は、そんな賑やかなハレの日を記念として映像作品に残す。注目すべきは、そうした自主制作ビデオは個人で所有されるのではなく、海賊版としてコピーされ、一般に向けて（勝手に）安く売られることだ。

日本にお招きした徳宏州タイ族の三人と同じく、タイ族のアイデンティティをもつ人びとは中国のみならず、ミャンマー（ビルマ）やタイ北部にまで広がっている。中国領内の自主制作ビデオはコピーが繰り返され、その海賊版は国境を越え、

巷では世界各地の映画の不正コピーVCDが氾濫していた。もつとも、正価品があまりにも少ないため、本物が偽物と間違われるという皮肉な出来事まであった。海賊版は安価なうえに日本では珍しい新旧さまざまな映画も手に入るので、お金のない若者たちに歓迎された。

驚いたことに、どの国の映画であれ、海賊版メディアには必ず中国語字幕が入っているのだ。友人はそうした海賊版のために翻訳をおこなう者たちを「無名の英雄」とよんだ。海賊版映画で育った若い世代のなかには、世界各地のドキュメンタリー映画に興味をもつ者たちも多かった。ここ雲南省は中国五六民族のうち二五の少数民族が住む地域である。そのため、建国以来さまざまな少数民族記録映画がつけられてきた。雲南における人類学や民族学研究が隆

盛に向かうなか、雲南大学に東アジア映像人類学研究所（East Asia Institute of Visual Anthropology）が一九九九年から二〇〇四年まで開設された。そこでは十数名の学生がヨーロッパから招聘した専任講師から映像人類学の基礎から実践までを学んだ。二〇〇三年三月からは隔年で、若者たちが中心になって全国規模の雲之南記録映像展が開催されるまでになった。

年安価になったビデオカメラとパソコンを購入し、遠隔地の農村住民らに貸与して自らの手で自文化の記録映像を撮影・制作してもらおうという文化復興や開発、環境保護を実践する活動もおこなっている。

## コピーされる娯楽の自主制作ビデオ

ビデオ撮影はなにも都市部だけの特権ではない。少数民族はこれまで、奇異な文化をもつ人びととして常に



自主制作ビデオもかなり本格的な機材を使う

民間歌手フーカムが聴衆たちと歌を掛け合う



海賊版の自主制作ビデオやポップスが売られている店

ミャンマー（ビルマ）や遠く離れたタイ北部で販売される。そうしたコピーメディアは、国家に対する抵抗や、故郷を離れて暮らすディアスポラの人びとのアイデンティティのよりどころにもなる。

ところで、わたしが編集した記念映像作品だが、三人の民間芸能者が有名だったため、もちろん、すぐさま海賊版として州内全土で売られるはじめた。わたし自身はちょっとしか登場していないのだが、ときどきそれ違うおばさんたちに呼び止められ、その記念映像の内容について聞かれることもしばしばあった。